



開館40周年記念  
Commemorating the Museum's 40th Anniversary



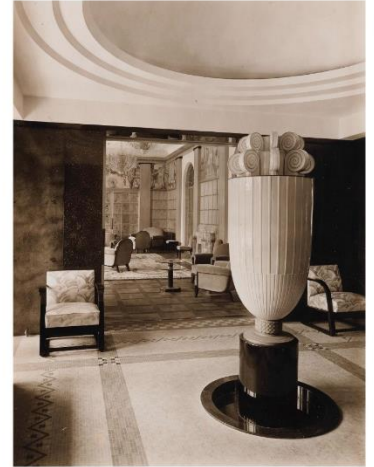
Light

Bath Room



旧朝香宮邸の素の姿、  
お見せします

Vase Lumineux Rapin



Garden



Tile

旧朝香宮邸を読み解く

# A to Z



The A to Z Guide to  
the Former Residence of  
Prince Asaka

Design



Floor



Cultural Property

キーワードから  
この館を解き明かす  
展覧会



René Lalique

Art-Deco



Mural



Private Room

2024年2月17日(土) → 5月12日(日)

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は開館の30分前まで) \*2024年3月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)は夜間開館のため20:00まで開館(入館は19:30まで) 休館日 | 毎週月曜日 \*ただし、4月29日・5月6日は開館、4月30日(火)・5月7日(水)は休館  
Exhibition period: Saturday, February 17 – Sunday, May 12, 2024 Hours: 10:00-18:00 \*Last admission at 17:30 March 22, 23, 29 and 30 opening until 20:00 (Last admission at 19:30) Closed: Mondays (except April 29, May 6), April 30, May 7

入館料 | 一般: 1,400 (1,120) 円、大学生 (専修・各種専門学校含む): 1,120 (890) 円、中学生・高校生および65歳以上: 700 (680) 円  
( ) 内は20名以上の団体料金 / 小学生以下および都内在住の中学生は無料 / 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・聴覚者健聴手帳をお持ちの方とその他観覧者2名は無料 / 教育活動として観覧が引継ぎする都内の小・中・高校生および観覧は無料(事前申請が必要) / 第3水曜(シルバーデー)は65歳以上の方は無料

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 協力 | ギャラリー小柳 年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P. Bloomberg Van Cleef & Arpels  
〒108-0071 東京都港区白金5-21-8 お問い合わせ: 050-5641-8600 (ホットダイヤル) 6-21-8, Shirokanadai, Minato-ku, Tokyo Tel +81 (0)50 5641 8600 URL: www.teien-art-museum.jp SNS: @teienartmuseum アクセス: [日高駅] JR山手線 東口 / 東急目黒線 正副口より徒歩7分、[白金台駅] 有楽町線 / 東京メトロ有楽町線 白金台駅より徒歩8分



東京都  
庭園美術館  
TOKYO METROPOLITAN  
TEIEN ART MUSEUM

## プレス関係各位

日頃より東京都庭園美術館をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当館では、2024年2月17日（土）～5月12日（日）の会期で「旧朝香宮邸を読み解く A to Z」展を開催いたします。開館40周年を記念した企画展の第二弾は、本館の旧朝香宮邸を主役にした展覧会。旧朝香宮邸のありのままの姿に迫ります。

ぜひ貴媒体にて本展をご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

## 開催概要

展覧会名	開館40周年記念 旧朝香宮邸を読み解く A to Z <small>エートゥーゼット</small>
英文タイトル	Commemorating the Museum's 40th Anniversary The A to Z Guide to the Former Residence of Prince Asaka
会 期	2024年2月17日（土）～5月12日（日）
開館時間	10：00～18：00（入館は閉館の30分前まで） *2024年3月22日（金）、23日（土）、29日（金）、30日（土）は 夜間開館のため 20：00まで開館（入館は19：30まで）
休 館 日	毎週月曜日 *ただし4月29日・5月6日は開館、4月30日（火）・5月7日（火）は休館
会 場	東京都庭園美術館 本館+新館
入 館 料	一般＝1,400（1,120）円／大学生（専修・各種専門学校含む）＝1,120（890）円 中・高校生＝700（560）円／65歳以上＝700（560）円 <small>※（ ）内は20名以上の団体料金 ※小学生以下および都内在住在学の中学生は無料 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料 ※教育活動として教師が引率する都内の小・中・ 高校生および教師は無料（要事前申請） ※第3水曜日（シルバーデー）は65歳以上の方は無料</small>
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
協 力	ギャラリー小柳
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P. <b>Bloomberg Van Cleef &amp; Arpels</b>

本展はオンラインによる事前予約制を導入しています。

アクセス [目黒駅] JR 山手線東口／東急目黒線正面口より徒歩7分

[白金台駅] 都営三田線／東京メトロ南北線1番出口より徒歩6分

## 開館40周年イベントもいよいよフィナーレ！

「わたしのいい日に ようこそ40年目の美術館へ」

上記キャッチコピーのもと、様々な事業やイベントで盛り上げてきた  
開館40周年事業も2024年3月でいよいよフィナーレを迎えます。

最後までお見逃しなく！

詳しくは、こちらからご確認ください。

40周年特設サイト <https://teien40th.jp/>



## 展覧会概要

旧朝香宮邸—。1933年（昭和8）に竣工したこの建物は、皇族・朝香宮家の邸宅として、また外務大臣・首相の公邸や迎賓館として、時代とともに役割を変えて様々な顔を見せながらも今日たくさんの方々をお迎えしています。建設当初の姿を留めた旧朝香宮邸は、現在では豊かな時間をお楽しみいただける美術館であるとともに、国指定の重要文化財という特性も兼ね備え、活用と保存を調和・両立させた存在と言えます。

開館40周年を記念して開催する本展は、改めて旧朝香宮邸をじっくりと読み解くための展覧会です。これまで培った調査や研究をもとに、アルファベットのAからZを頭文字に持つキーワードをピックアップして解説。新たな見どころや魅力を来館者の皆様に発見していただきます。

今回、可能な限り素のままの旧朝香宮邸をお見せして、建築空間との対話ひとつひとつを大切に考えていきます。今までに来館されたことがある方も、まだ見たことがない！という方も、この機会にぜひご来館いただき、建築そのものを存分にご堪能ください。そして当館の活動へのご理解を深めていただけるきっかけになれば嬉しく思います。

## 展覧会カタログ

### 「旧朝香宮邸を読み解く A to Z」公式カタログ

本館・旧朝香宮邸の新撮写真や、現代作家によるインスタレーションの展示風景写真を盛り込んだカタログ。豊富な写真ページに加え、AからZのキーワード解説や出展作家の言葉を収録した充実の内容です。アール・デコの館をもっと知りたい人への手引きとしても、おすすめです。

2024年2月17日（土）～ 当館ミュージアムショップにて販売予定！



本展のみどころ

①竣工から90年、時を刻んだ空間をキーワードを道しるべに巡る

朝香宮家の邸宅として誕生して90年、東京都庭園美術館として開館してから40年の月日が経過しました。時間の流れとともにこの建物の歴史や関わった人の想いは重なり、今、それから未来へと繋がる礎になりつつあります。そこで改めて旧朝香宮邸を見つめ直す試みとして、各部屋に散りばめられたキーワードを解説しながら導く構成で館内を回っていただきます。それはあたかも旧朝香宮邸の辞書を引いて紡いでいくような体験。旧朝香宮邸に関する基本情報から今までなかなか紹介するチャンスがなかった内容まで、調査や取り組みの一端を紹介します。

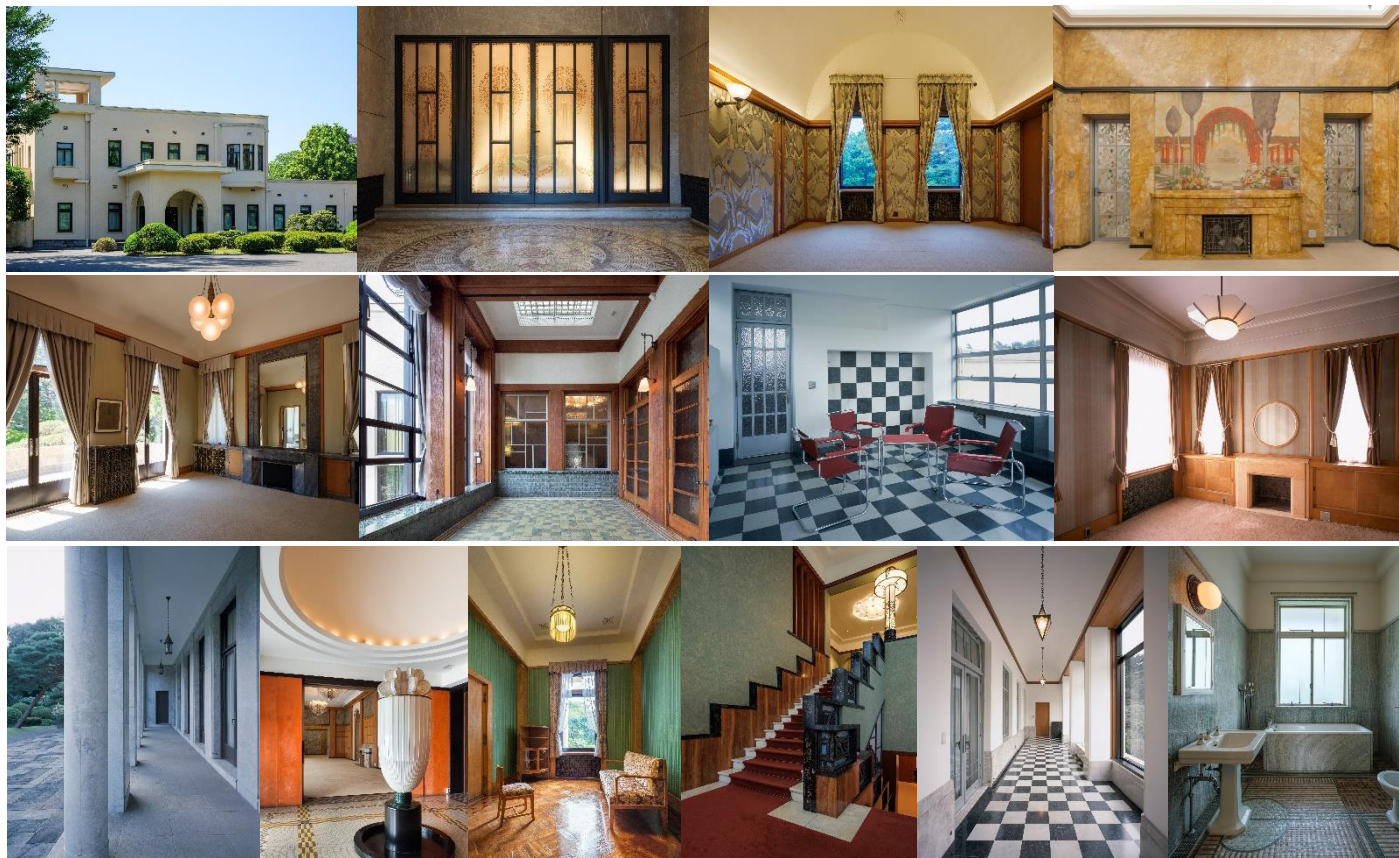
②実はあまり見る機会がない、「素顔」の旧朝香宮邸

普段、旧朝香宮邸は、展示ケースや仮設の壁面の設置、家具・調度品を配した再現展示等、美術館の展示室として活用している部分を主にご覧いただいています。これは当館の本館として最も重要な役割です。今回の展覧会はその部分の役目を一度脇に置いて、敢えてあるがままの旧朝香宮邸を知っていただく機会とします。ウインターガーデンをはじめ、観覧可能なエリアを公開します。実は私たちスタッフ職員も素の状態はあまり見ることはありません。そこにはどんな光景が潜んでいるのでしょうか。じっくりと味わってみてください。

③現代作家の視点に委ねて旧朝香宮邸を読み解いてみる

伊藤公象（1932-）と須田悦弘（1969-）をゲストアーティストに迎え、本館内や庭園で、旧朝香宮邸をさらに深く読み解く手がかりとなるようなインスタレーションを展開します。作品と空間そして歴史とが呼応した瞬間、旧朝香宮邸の新たな視点や見え方が舞い込むかも知れません。

※記載内容に変更が生じる場合があります。  
※その他、最新情報につきましてはウェブサイトにて随時お知らせいたします。



出展作家  
(ゲストアーティスト)

## 伊藤公象 ITO Kosho (1932-)

土を素材とした陶作品で独自の造形世界を追求し、空間や環境によって有機的な変容を見せるインスタレーションで知られる。

本展では、代表作「土の襞」を本館2階北の間に配置し、1930年代の美術タイルに囲まれた室内空間で陶と陶とのコラボレーションを展開する。

庭園には、シリーズ「多軟面体」が出現。空・地・庭園の緑等、日々変化する自然と作品とが結びつき、日常に存在する刹那の時空間へと誘う。



《「土の襞」- 白い光景 - 》(部分)



《シリーズ「多軟面体」- 庭園の森の風景 - 》(部分)

1932年石川県金沢市出身。1972年、茨城県笠間市に伊藤知香と伊藤アトリエを設立。現在も笠間の伊藤アトリエで制作活動を行う。

## 須田悦弘 SUDA Yoshihiro (1969-)



木彫による精巧で緻密な花や草木を思いがけない場所に配し、空間全体に静かな驚きをもたらすインスタレーションを展開している。

本展では、花のモチーフがあしらわれている本館2階姫宮居間や第一階段にて、その場所に寄り添うような作品を展示する。

他にも、館内の意外な箇所に作品をそっと佇ませ、訪れる者に旧朝香宮邸の新たな視点を吹き込む。

《野菊》2023年、木に彩色

1969年山梨県に生まれる。1992年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。現在は拠点を東京に置き、国内外で作品を発表している。

会期中の  
プログラム



東京都庭園美術館は、あらゆる方にとって居心地の良い場となることを目指し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境づくりに取り組みます。  
フラットデー開催日はオンラインチケットをご予約・購入済の方、障害者手帳等をお持ちの方や各種割引が適用される方、無料対象の方以外はお入りいただけません。あらかじめご了承ください。



<https://www.teien-art-museum.ne.jp/visit/gallery-day/> 詳細はウェブサイトからご確認ください

① ゆったり鑑賞日

障害がある方も、ない方も、美術館をゆっくり楽しみませんか？  
全体の入館人数を制限し、普段よりも空いた環境でゆっくりとご鑑賞いただける一日です。多くの人で賑わう美術館に不安がある方も、車椅子の方や介助等が必要な方も、安心してお過ごしいただけます。  
開催日時：2024年3月13日（水）10:00～18:00（最終入館17:30）

② ベビーアワー

赤ちゃんと暮らすご家族のみなさんに気兼ねなく展覧会をご覧いただける時間です。普段はベビーカーを使うことができない本館もベビーカーのままご入館いただけます。  
開催日時：2024年3月27日（水）10:00～14:00（本館内でベビーカーを利用できる時間）

鑑賞ツアー同時開催

フラットデー当日はアート・コミュニケータによる鑑賞ツアーも行います。



ウェルカムユース (Welcome Youth)

休館日を除く2024年3月1日（金）～4月7日（日）は、18歳以下の方々（2005年4月2日以降生まれの方）は入館無料です。※年齢を証明するものが必要です。

「Welcome Youth」とは、東京都歴史文化財団が実施する、18歳以下の皆様が気軽に芸術文化に親しんでいただくための取り組みです。

※会期中に開催される展覧会プログラムは随時追加される予定です。詳細は決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

開館40周年記念  
ミュージアム  
グッズ

ミュージアムショップより  
インフォメーション

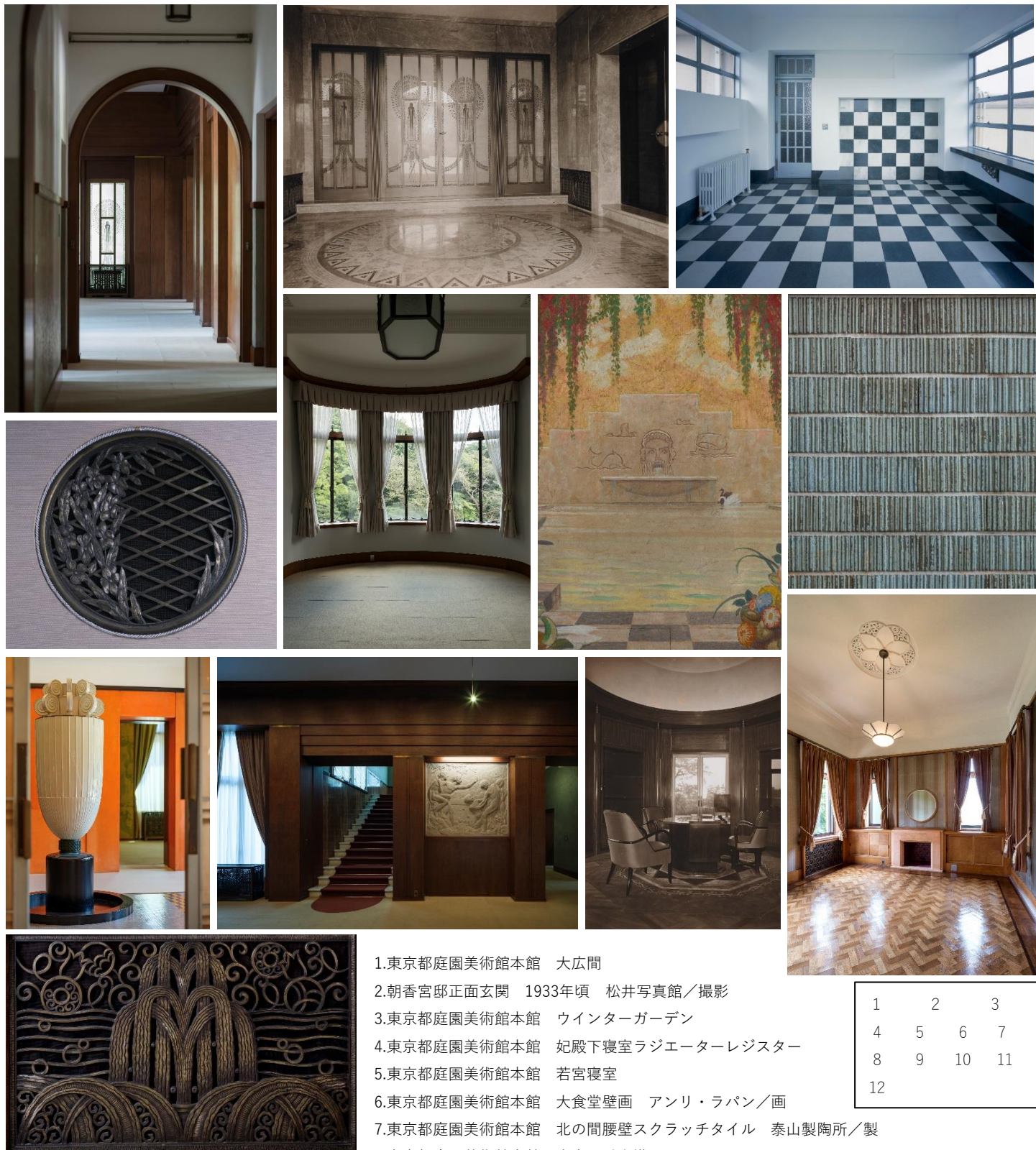
東京都庭園美術館オリジナルトートバッグ、販売開始！

開館40周年を記念して、旧朝香宮邸の外観をデザインした、オリジナルトートバッグを制作しました。倉敷帆布を使い、丈夫で持ち運びやすい形のバッグです。展覧会の開幕に合わせて、販売を開始します。ショップへの来店でご購入のお客様、先着10名様に、旧朝香宮邸のモチーフを使ってデザインした「ポチ袋」をセットでプレゼント。

商品名：東京都庭園美術館オリジナル  
倉敷帆布トートバッグ  
サイズ：W360mm×H360mm マチ110mm  
販売価格：税込4,900円  
販売日（予定）：2024年2月17日（土）～



◎広報用画像



1. 東京都庭園美術館本館 大広間
2. 朝香宮邸正面玄関 1933年頃 松井写真館／撮影
3. 東京都庭園美術館本館 ウィンターガーデン
4. 東京都庭園美術館本館 妃殿下寝室ラジエーターレジスター
5. 東京都庭園美術館本館 若宮寝室
6. 東京都庭園美術館本館 大食堂壁画 アンリ・ラバン／画
7. 東京都庭園美術館本館 北の間腰壁スクラッチタイル 泰山製陶所／製
8. 東京都庭園美術館本館 次室 香水塔
9. 東京都庭園美術館本館 大広間
10. 朝香宮邸書斎 1933年頃 松井写真館／撮影
11. 東京都庭園美術館本館 姫宮居間
12. 東京都庭園美術館本館 殿下居間ラジエーターレジスター

1	2	3
4	5	6
8	9	10
12		

展覧会広報 お問い合わせ先

東京都庭園美術館 広報担当：板谷、斉藤

TEL. 03-3443-0201

MAIL. [press@teien-art-museum.ne.jp](mailto:press@teien-art-museum.ne.jp)